

はんなーら委員会

1. 構成員
- | | |
|------|----------------------|
| 委員長 | 大野浩史 |
| 副委員長 | 長棹万岳 |
| 委員 | 今村隆介 鈴木大樹 財部将文 長谷川達矢 |

1. 予算額 未定

1. 運営方針

人口減、高齢化が進む中で持続可能な地域社会の創出のためには、地域活性と市民のクオリティ・オブ・ライフの向上が必要であり、観光振興は重要なトピックの一つです。飯能日高の地は、豊かな自然とそれを活かした様々なアウトドア体験、さらには伝統的な祭りやグルメといった魅力溢れる観光資源を有しており、2022年度の観光入込客数は回復傾向にありますが、新型コロナウイルス流行前の数値に及びません。観光産業のさらなる発展のためには、より多くの人にこの地域の魅力を発信し、認知していただく必要があります。

広報誌はんなーらでは自宅から1~2時間程の距離を対象としたマイクロツーリズムと、それ以上の範囲を対象としたグローバルツーリズムのバランスを取った構成で、市民と市外の人々、さらには世界中の人々と、各層に合わせて効果的に地域の魅力を発信します。並びに青年会議所の国内外のネットワークを活用することにより、市外へのシティープロモーションとしての価値を創造します。またSNSでは若者世代をメインターゲットとして即時性の高い情報を発信し、Webサイトへ誘導、連携することで情報共有の機会を増やします。また、各媒体でのアンケートやWebサイト上の問い合わせ欄への誘導により、より多くの意見を収集し、ニーズに沿った情報の発信を試みます。

地域の魅力を市内外へアピールすることは、市民の方々へは身近な魅力を再認識していただくことでより住み良い地域と感じていただけるようになります。また、市外の方々へはこの地域を訪れていただくきっかけとなります。そうした地の利を活かした持続可能な観光を訴求していくことが地域社会の経済、文化、環境にポジティブな影響をもたらし、市民のクオリティ・オブ・ライフの向上に寄与すると確信します。

1. 事業計画

- ① 例会1回（次年度運営方針 11月）
- ② 広報誌「はんなーら」の発行（3回 3月・7月・10月）
- ③ LOM活動記録・管理（卒業生アルバム作成含む）
- ④ 公式Webサイト作成・運営
- ⑤ デジタルツールの活用
- ⑥ 広報誌「はんなーら」の海外への配信